

執筆者紹介（所属・担当・学生へのメッセージ）【執筆順、※は編著者】

※徳川 信治（とくがわ しんじ）

立命館大学法学部教授

担当：はしがき、序章、第1章、第2章

学生へのメッセージ：

私たちの生活と国際社会のつながりは、私たちが思っている以上に密接です。本書を通じて、それを理解していただければ幸いです。

湯山 智之（ゆやま ともゆき）

立命館大学法学部教授

担当：第3章、第12章、第13章

学生へのメッセージ：

一見無秩序に見える国際社会にも、国際法という秩序があることを学んでください。

松井 章浩（まつい あきひろ）

大阪工業大学知的財産学部講師

担当：第4章、第9章

学生へのメッセージ：

国際社会の問題も法の問題も遠い話ではありません。身近なことから考えていきましょう。

※西村 智朗（にしむら ともあき）

立命館大学国際関係学部教授

担当：第5章、第10章、終章

学生へのメッセージ：

国際法を守るのは国家ですが、その国家の担い手は私達市民です。だからこそ国際法は学ぶ価値があるのです。

樋爪 誠（ひづめ まこと）

立命館大学法学部教授

担当：第6章、第7章

学生へのメッセージ：

私は、21世紀国際社会において、国家と個人の協調が重要なのではないかと思っています。国境を越えていく人々と、公法（6章）、私法（7章）の関係を通して、皆さんも一度その点について考えてみませんか。

西片 聡哉（にししかた としや）

京都学園大学法学部准教授

担当：第8章

学生へのメッセージ：

この本を読んで、私たちが国際法を通じて世界とどのように繋がっているのか考えてみましょう。国際法は私たちと無関係ではないはずです。

木原 正樹（きはら まさき）

神戸学院大学法学部准教授

担当：第11章、第14章

学生へのメッセージ：

いつの日か、世界中の人々が平和で幸福になりますように！
そう願う人みんなの味方に、国際法はなってくれます。